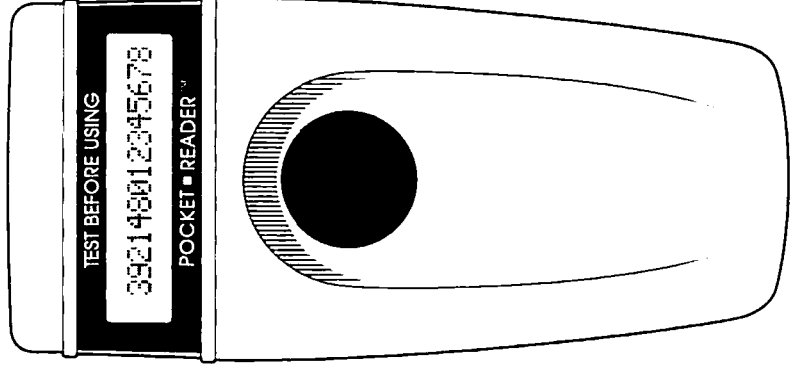




ライフチップ™ リーダー バイオサーモ™

(体温測定機能付)



「製品を正しくお使いいただくためのご注意」

- 乾電池が正しくセットされていないと、スキッパーに大きな損傷を与えることがあります。使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- スキッパーの性能は含炭素、コンパニオンの粉末、ヒデオ・スクリーンにより影響を受けることがあります。効率的にお使いいただくためには、出来れば、固固から金属品を取り除き、また粉末やヒデオ・スクリーンの電源を切ってください。
- スキッパーの使用方法は電池の寿命に悪影響を及ぼします。電池のブランドやスキッパーボタンを押している時間により、電池交換が必要となるまでのスキッパーによる読み取り回数が大きく異なります。

■保証について

正常な状態での使用またはアフターサービスにより製造上の不良が発生した場合、ライフチップリーダーのスキッパーについて、出荷の日より年間無料修理いたします。本保証は、事故、故障、輸送上での破損等、正常な状態における使用以外の原因による故障、修理、パーツ交換には適用されません。また、保証期間中の製品の故障については、デジタル エンジェル 文庫とは連関ありません。また、保証期間中の修理もしくは交換に対してのみ責任を有するものとします。デジタル エンジェル社はいかなる原因損害あるいは損失に対する責任を負わないものとします。

FCC規定について

本製品はテストにより、FCC(米国連邦通信委員会)規定のパート15に準い「A級」デジタル装置に対する制限に準拠しています。この制限は、家庭や商業環境で使用された場合、有害な干渉を防止することも目的とするものです。製品は高周波エネルギーを発生、使用し、また放射することがあります。取扱い説明書に強い障害、使用が行われない場合、無線通信への干渉を引き起こすことがあります。また、住宅地域での製品の使用により有害な電波障害の原因となる恐れがありますが、その場合、ユーザーは各自の責任により発生した電波障害を修正するものとします。

デジタル エンジェル社の承諾なしに、製品仕様の修正、変更を行うことはできません。これに反した場合、ユーザーに対する製品使用の許可を無効とします。

CE承認について

製品は、該当する場合にCEの承認を取得しています。



輸入販売元
大日本製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区清修町2-6-8
電話 (06) 6203-5318

製造元

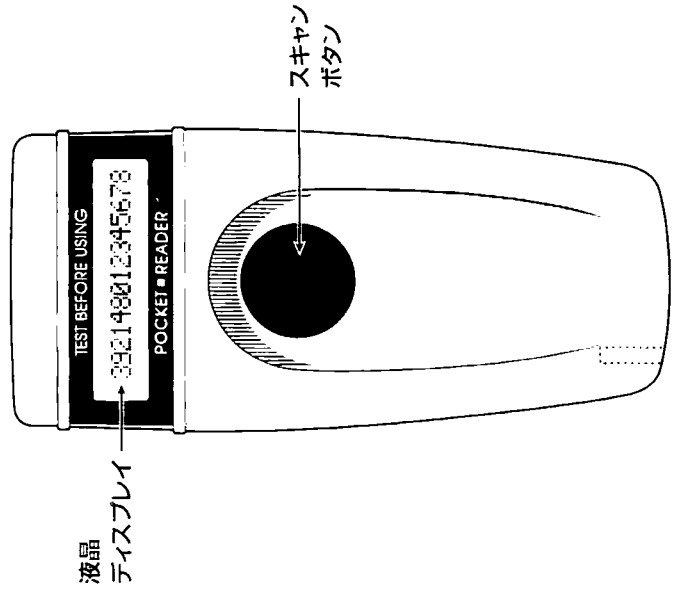
デジタル エンジェル社*
(米国)

◆ **DESTRON™**
Technologies
a Digital Angel™
CORPORATION

お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

目次

- 各部の名称 2
- I 電池
 - 乾電池の抜差し・交換 3
 - 製品を効果的にお使いいただくための推奨電池 3
 - 自動電源オフ機能 4
 - ご注意 4
- II スキャナーの操作
 - スキャナーを起動させるには 5
 - ライフチップ™バイオセンサー™を読み取るには 6
 - スキャナーの事前テスト 8
 - 読み取り部 8
 - スキャナー使用上のご注意 8
 - マイクロチップの埋め込み部位 9
 - 他社のマイクロチップに関する使用上のご注意 10
 - マイクロチップの埋め込み部位を特定する 11
 - 肩甲骨中央にチップが埋め込まれている場合のスキャンパターン 12
 - スキャナーの電源を切る 13
 - 乾電池の寿命をのばすために 13
 - フィールド・プログラマブル・ポート 13
 - システムをリセットする 13
- III 主な仕様
 - 製品特性 14
 - 製品を正しくお使いいただくためのご注意 15



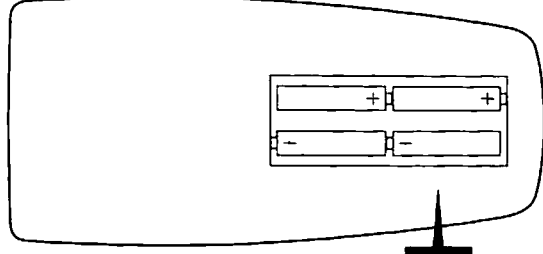
フィールド・プログラマブル・ポート
134.2KHzのポケットリーダーISO11785に準拠しています。

ライフチップ™リーダーバイオサーモ™ の使用方法

I 電池

乾電池の装着・交換

ライフチップ™リーダー（以下リーダーと記載）本体裏側にあるバッテリーケースの蓋のボルトをドライバーで外します。単4アルカリ乾電池4本を、十の向きををを確認して正しく入れます。それから、バッテリーケースの蓋のボルトをドライバーでしっかりと締めます。



リーダーは単4アルカリ乾電池4本使用します。

製品を効果的にお使いいただくための推奨電池

リーダーをお使いいただくためには、デュセル®あるいはエナジャイザー®もしくはこれらと同等のアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。充電式電池を使用した場合、スキヤナーの操作に十分な電源が供給されません。また、新しい乾電池を装着したにもかかわらず、バッテリーの残量が少ないことを示す「LOW BATTERIES」が表示されることがありますが、これは本体の電源スイッチのオンとオフを3、4回繰り返すことにより消えます。

自動電源オフ機能

スキヤナーには「自動オフ」機能が備わっています。乾電池の残量が少なくなリ、物の体内に埋め込まれたマイクロチップを判読できなくなると、自動的にスキヤナーの電源が切れるようになっていきます。リーダーのバッテリーの残量が少なくなると、「LOW BATTERY」が表示（図1）され、次に電池交換を示す「REPLACE BATTERY」（図2）が表示されます。この場合、新しい乾電池と交換するまで、スキヤナーの作動はできません。

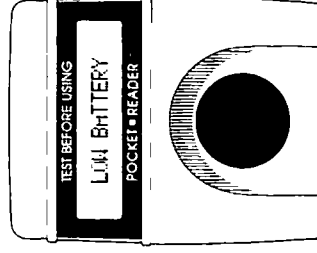


図1

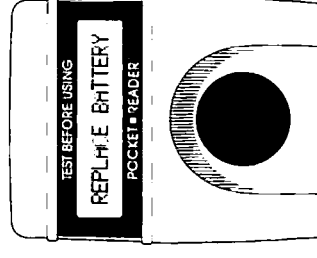


図2

ご注意

スキヤナーがプログラムの途中で停止または「フリーズ」した場合、乾電池を全部取り出し、「乾電池の装着・交換の仕方」の指示に従ってもう一度入れなおしてください。

II スキャナーの操作

【スキャナーを起動させるには】

スキャンボタンを1回押して、離します。すぐに、ソフトウェアのバージョンが液晶ディスプレイに表示され(図3)、続いて「BIO-THERMO READY」の文字が表示されます(図4)。

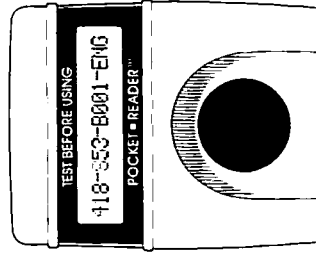


図3

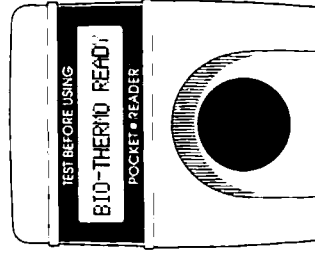


図4

【ライフチップ™バイオサーモ™を読み取るには】

さらにスキャンボタンを押し続けてください。「SEARCHING」が表示されます(図5)。ライフチップが無ければスキャンボタンから指を離れた時「NO ID FOUND」が表示されます(図6)。

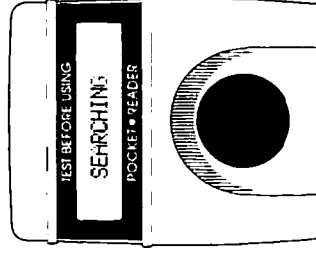


図5

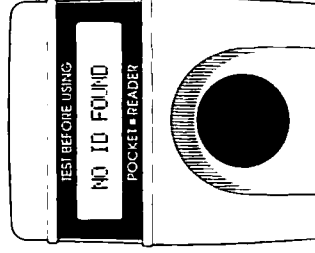


図6

ライフチップ™バイオサーモ™があれば「ビー」という電子音とともに、15桁のID番号が表示されます(図7)。スキャンボタンを押さえている間はID番号を表示します。ボタンを離すと、動物の体温が摂氏と華氏で表示されます(図8)。ライフチップ™バイオサーモ™以外のマイクロチップはID番号のみ表示されます。

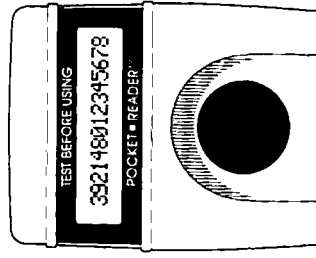


図7

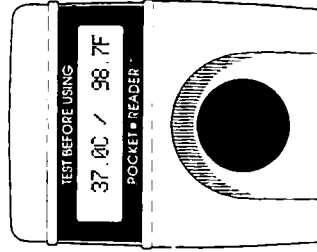


図8

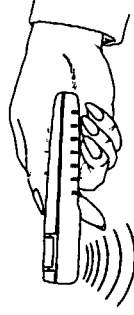
図7と図8が交互に3回ずつ表示されます。

スキャナーの事前テスト

動物に実際にスキャナーを使用する前に、必ずテストを行ってください。スキャナーが正しく動作するかどうかを確認するため、スキャナーにはそれぞれテストチップがついています。スキャンボタンを押し続けながら、テスト用ライフチップをリーダー本体の裏面上方にある読み取り部の下を通過させます。この時必ず正確に読み取られているかを確認してください。もしスキャナーによるテスト用ライフチップの読み取りが行われていなければ、本書の「乾電池の装着・交換の仕方」をもう一度よくお読みくださるか、または弊社にお問い合わせください。

読み取り部

ポケットリーダー本体の裏側からチップのID番号の読み取りを行います。



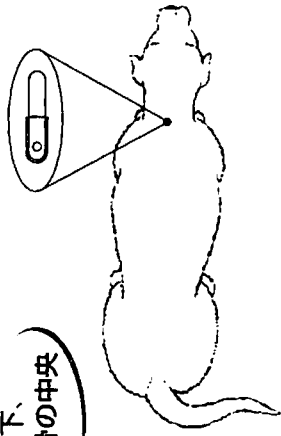
スキャナー使用上のご注意

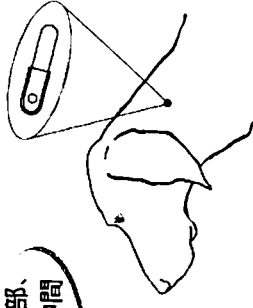
コンピュータの端末やビデオ・スクリーンが作動している場合、または金属のついた首輪、引きヒモ、鎖あるいは鑑札が、マイクロチップから3メートル(約10フィート)以内にある場合、リーダーの読み取り性能を低下させる恐れがあります。できれば、マイクロチップの読み取りが終了するまで、これらの機器のスイッチを切るか、金属のついた製品を移動させるか、あるいはこれらの機器や金属製品から離れたところでマイクロチップの読み取りを行ってください。



体内に埋め込まれたマイクロチップの検索

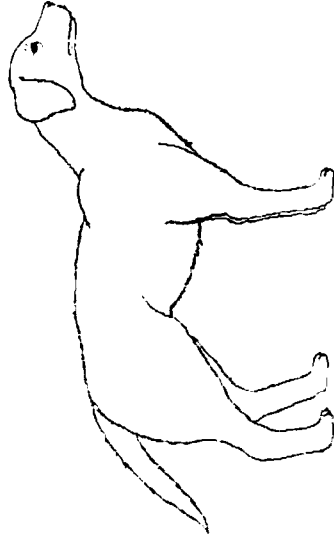
マイクロチップの埋め込み部位

<p>皮下、 肩甲骨の中央</p> 	<p>オーストラリア・ニュージーランド・ カナダ・英国・日本・米国</p>
---	---

<p>皮下、左側頸部、 耳と肩先の中間</p> 	<p>ヨーロッパ大陸</p>
--	----------------

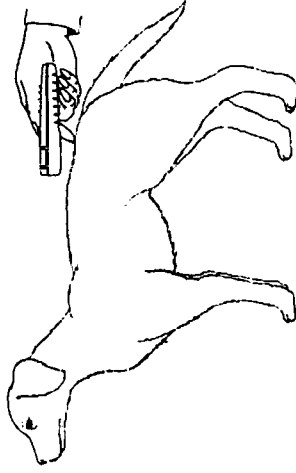
他社のマイクロチップに関する使用上のご注意

ライフチップ™リーダーでは他社のISO規格のマイクロチップも認識することができますが、すべての製品に特許のバイオバンド®(体内移動防止キャップ)がついているとは限りません。従って、下記の図の通り、動物のひじおよび両肩の前までスキャンすることにより通常の読み取り範囲を拡大することが重要です。



マイクロチップの埋め込み部位を特定する

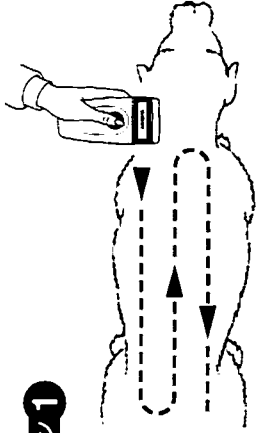
動物の体内に埋め込まれたマイクロチップの部位を特定するためには、まず液晶ディスプレイに「SEARCHING」の文字が表示されるまで、スキャンボタンを押し続けます。この時、リーダーを水平に保ち、リーダーの裏側が軽く動物に触れるようにします。右記のスキャンパターンに従い、円を描くようにスキャナーをゆっくりと動かします。(注意:動物の種類、マイクロチップのブランド、マイクロチップの埋め込みが行われた国により、埋め込み部位が異なります。) マイクロチップの部位が特定されると、「ビー」という電子音とともに、液晶ディスプレイにID番号が表示されます。



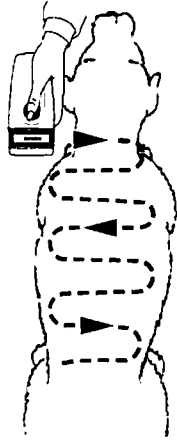
■スキャン手順の「SEARCHING」段階で液晶ディスプレイに数字あるいはアルファベット(数字および/あるいは文字)が表示されれば、マイクロチップが埋め込まれています。

肩甲骨中央にチップが埋め込まれている場合のスキャンパターン

スキャンパターン1



スキャンパターン2



重要ポイント

- マイクロチップ位置は動物により異なります。
- 小さな円を描くようにゆっくりと動かしてスキャンを行います。
- パターン1と2の両方でスキャンします。
- スキャナーを動物に軽く触れるようにします。
- スキャン中はスキャンボタンを押し続けます。

■ 主な仕様

製品特性

ライフチップ™リーダー バイオサーモ™

送信周波数	125kHzまたはISO 134.2kHz
寸法	170mm (L) × 80mm (W) × 32mm (H)
重量	308g
カラー	RAL 7032
素材	ABSプラスチック
使用時の温度条件	0～50℃ 32～122°F
保存時の温度条件	－20～65℃ ー4～149°F
湿度条件	10～90% (ただし結露しないこと)
電源	単4アルカリ乾電池×4本 1.5ボルト
表示装置	16桁液晶ディスプレイ
出力ポート	シリアル・フィールド・プログラマブル・ポート
RS 232ポート	コンパチブル

■直射日光が当たるところや、湿気の多いところまたは温度が非常に高いところへリーダー本体を保管しないで下さい。

■リーダーは動物病院または動物保護施設で愛玩動物に対して使用するよう設計されています。

バイオサーモ®は登録商標であり、ライフチップ®バイオサーモ™、ポケットリーダー™はデジタル エンジニア社の商標です。
デュオセルはデュオセル社の登録商標であり、エナジックバイオサーモはエナジックリーダー社の登録商標です。

大日本製薬株式会社 アニマルサイエンス部

大阪市中央区道修町2-6-9

お問い合わせは下記へ

● 東京 (03) 5685 - 7220 ● 大阪 (06) 6203 - 5318

スキヤナーの電源を切る

液晶ディスプレイに「NO ID FOUND」と表示されている場合には、スキヤナーから指を離した後5秒以内に自動的に電源が切れます。

マイクロチップのID番号が表示された場合、スキヤナーボタンから指を離してから70秒後に自動的に電源が切れます。

乾電池の寿命をのばすために

マイクロチップのIDコードが表示されたら、スキヤナーボタンを押し、すぐに指を離します。液晶ディスプレイからID番号が消え、「SEARCHING」という表示に続いて「NO ID FOUND」と表示されます。その後5秒以内に自動的に電源が切れます。

フィールド・プログラマブル・ポート

プログラマブル・ポートを使用すれば、スキヤナーは次世代のマイクロチップを読み取るプログラム機能が可能となります。

システムをリセットする 重要

特異な状況のもとでは、スキヤナーに次のような特徴があらわれるかもしれません。

- 液晶ディスプレイ一面にまっすぐな実線がでている。
- 点灯しているが、液晶ディスプレイには何も表示されていない。
- 本体の電源が切れない。

これらの特徴は通常、スキヤナーをリセットすることにより修正されます。スキヤナーをリセットするためには、乾電池あるいは外付けの電源を一旦取り外してください。